

3年－Unit8

単元名 What's this? これなあに?

1. 単元目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・クイズを出したり答えたりし合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○What's this? Hint, please. It's(a fruit). It's(green). It's(a melon). That's right.

○it, hint, sea, 動物 (elephant, horse), spider

[既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. /No, I don't. No. Sorry. 数(1~30), 果物・野菜, 飲食物, 動物, 色,

形, 状態・気持ち, what, is, this, please

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはつきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4. 単元計画 (2時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】, ○) 【 】= 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆ 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。【気】【慣】 【Let's Play1】 p.31 ・ 映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。 【Let's Play2】 p.32 ・ シルエットや断面図から何かを当てる。 ○シャッフル・ゲーム 【Let's Chant】 What's this? p.31	◎ 外来語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析> ◎ 身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	◆ 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】 【Let's Chant】 What's this? p.31 ○ What's this? クイズ ○ ステレオ・ゲーム 【Activity】 ①ヒント・クイズ Q1 p.32, 33 ・ 3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。	◎ ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

3年Unit8—Lesson1 What's this? これなあに?	1/2時間
目 標 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり 答えたりする表現を知る。【気】【慣】	
準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(野菜、果物、動物)、振り返りカード	

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
13分	【Let's Play1】 p.31 ・映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。 スクリプト【指導書 P32】	・誌面を示しながら、What's this? What can you see?などと尋ね、場面を理解させるとともに、自然の中で遊んだ経験を引き出すなどして活動への意欲付けを図る。 ・虫眼鏡の中に見える物についても、What's this?と問い合わせ、個人やグループで予想させ、デジタル教材で答えを確かめる。 ・自然な会話の中で、昆虫など身の回りの物の言い方やある物が何かと尋ねる表現と出会わせるようにする。(見開きページ左から)(春)カラスの巣(夏)クモ(秋)ガの羽(冬)クロウ	デジタル教材 児童用テキスト
10分	【Let's Play2】p.32 ・シルエットや断面図から何かを考えて答える。 (上段左から)にんじん・きゅうり・桃・パイナップル (下段左から)玉ねぎ・ピーマン・オレンジ・トマト	・映像のシルエットや断面図を見せ、それぞれが何かを考えさせ、発表させる。児童の答えを引き出しながら、野菜などの言い方に出会わせる。 ・peach pineapple orange tomatoなど、外来語としてなじみのある野菜や果物を扱うことから、英語での言い方に出会わせる際に、日本語では手をフラットに移動して発音して聞かせ、英語の場合には、強く発音する部分などは、手をあげたりして、音声の違いに気付かせるようにする。 ◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。〈行動・観察・振り返りカード分析〉	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(野菜、果物)
8分	○シャッフル・ゲーム	・身の回りの物の言い方を確認し、デモンストレーションで進め方を示す。 ※進め方 ・英語での言い方を確かめながら、順に教師用カード(野菜、果物、動物)を裏返す(3~4枚)。児童に入れ替えた順が分かるように、2, 3回入れ替える。カードを表に返し、確認する。絵カードを慣れ親しませる。 ・1枚のカードをさし、児童の答えに応じて What's this?と児童に尋ねる。 えたりして活動を繰り返し、身の回りの物の言い方に ◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード(野菜、果物、動物)
5分	【Let's Chant】 What's this?p.31 動物(犬・猿・虎)	・最初は画面を見せず、音声だけを集中して聞かせ、どんな英語が聞こえたかを尋ねるなどして、意欲付けを図る。 ・画面を見ながらクイズに答えるような気持ちで、リズムに乗って楽しく言わせるようにする。慣れたら、動物の部分を自由に替えてオリジナルchantを作って言ってもいい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(動物)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかつたところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

目標 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】

準備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(色、形、野菜、果物、動物、大文字)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】What's this?p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	○What's this?クイズ	・指導者は、これまでに児童が慣れ親しんだ語彙の教師用カードの上に、無地のカードを重ねて持ち、児童にWhat's this?と尋ねる。児童にHint, please?とヒントが欲しいか尋ね、児童からHint, please.という表現を引き出しながら無地のカードを少しずらして、その下にある絵の一部を見せ、What's this?と尋ねる。これを繰り返しながら、児童にこれまでに慣れ親しんだものを思い出させたり、ある物が何かを尋ねる際の表現を何度も聞かせ慣れ親しませたりするようにする。	教師用カード(動物、果物、野菜) 教師用カード(大文字)
10分	○ステレオ・ゲーム What's this? It's~.	・ステレオ・ゲームをすることを告げ、デモンストレーションで進め方を示す。最初は、指導者がWhat's this?と尋ねるが、児童も一緒に尋ねるよう促す。活動中は個に応じた支援を行う。	教師用カード(動物、果物、野菜) 教師用カード(大文字)
	ステレオ・ゲームの進め方 ・黒板に5~6枚の絵カードを貼る。代表児童を3~4名指名し、それぞれの児童に、黒板の教師用カードと同じものの中から選んだカードを、他の児童に見えないように持たせる。他の児童は、全員でWhat's this?と、代表児童が持っているカードを指しながら尋ね、代表児童は、同時に、(It's)~.と答える。それを聞いて、誰が何と言ったか当てるゲーム。表現に慣れ親しませることがねらい。	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
12分	【Activity】①ヒント・クイズQ1p.32,33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。 スクリプト【指導書P34】	・デジタル教材を使って、ヒント・クイズのQ1のみを出題する。Q1はヒントが単語レベルであるが、Q2,3は文レベルであることから次時で扱い、本時ではQ1のみを扱う。 ・3つのヒントの音声を聞かせ、それが何かを考えて答えさせる。これを参考に、児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使って、以下のようなヒントを考えて出題する。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(色、形、野菜、果物、動物、大文字)
		進め方 ・事前に、黒板に掲示した絵カードの中から、1枚を封筒に入れておき、その封筒を指さしてWhat's this?と問い合わせ、児童の興味をひく。そして、Hint1.A fruit. Hint2. Red. などとヒントを出して、それが何かを考えて答えさせる。児童がこれまでに慣れ親しんでいないが、指導者のジェスチャーや児童用テキストのイラストで、見たり聞いたりしたことがあるような語彙で類推しやすいvegetable, animal, appleなどをヒントでなんとなく分かることをさせるようにし、活動につなげる。	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

